



2026年3月号  
第40号

# 地域支え合い推進員だより

## ◆高齢者生活支援ボランティア養成講座を開催しました◆

1月16日(金)、ふれあいセンターにて高齢者生活支援ボランティア養成講座を開催しました。この講座は、ふくし座談会等で地域の皆さまから挙がった意見である、介護保険サービスでは対応できない、ゴミ捨てや庭木の手入れなどの高齢者の日常生活の困りごとを地域で支える活動のきっかけづくりとして今年度初めて開催しました。

始めのグループワークでは、「助け合い体験ゲーム」を使用して、ご近所での助け合いをゲーム感覚で体験しました。

ゲームを通して、自身の手伝いで解決できる困りごとや「手軽なお手伝い」「交流できること」など、自身の興味のある活動分野について知っていただける機会となりました。



助け合い体験ゲームの様子



活動紹介の様子

団体結成時の思いやりがい、受講者へのメッセージなどをお話いただきました。

受講者の方からは、「今行っている活動を元気に長く続けていきたい」「自分の身近な範囲で支え合い活動を行う」など、生活支援ボランティア活動についてより関心を持っていただけたのではないかと思います。

今後も、地域の生活支援の取り組みについて皆さまとともに考えていきたいと思えます。

「コミュニケーションのコツを知ろう」の講義では、相手の立場に立って信頼関係を築くためのポイントを学んでいただきました。

その後は、実際に市内で高齢者の生活支援ボランティア活動を行っている、竹林地区独自のおたすけ隊代表 林氏と一色小学校区地域協議会おたすけ隊代表 平坂氏にお話いただきました。



左：小牧市支え合い協働推進課 梅村氏

右：一色小学校区地域協議会代表 平坂氏

## ◆地域で活躍する企業・法人の方へインタビューVOL.9◆

地域支え合い推進員は、様々な企業や法人と連携して支え合いのまちづくりをしています。地域貢献をしている企業や法人をみなさんに知ってもらいたいと思い、小牧市で地域貢献活動をされている企業や法人を紹介しています。今回は、地域福祉推進パートナーシップ認定協力企業として、市内ふれあい・いきいきサロンに出前講座をしていただいている、(株)明治様の取り組みの紹介と担当者の田中さんにお話を伺いました。



カカオ豆の産地をイメージした衣装での講座

1月28日(水)タウン本庄「悠々サロン」にて、「チョコレートの世界」の出前講座が行われました。カカオの栽培からチョコレートができるまでの過程、チョコレートの歴史など、チョコレートについて詳しく解説していただきました。また、カカオ豆の風味の違いを実感できる、チョコレートの食べ比べもありました。

サロン代表者の西川さんは、「普段チョコレートは何気なく食べていたけれど、これからは味を感じながらじっくり食べたいと思う」との感想が聞かれました。

田中さんは、出前講座について、会社のスローガンである、『健康にアイデアを』をもとに、身近な食品のチョコレートやヨーグルトなどを通して健康情報をお届けしたいと考えていて、セミナー受講をきっかけに、健康に向けた行動をしていきたいとの声を聞いたときには嬉しく、やりがいを感じるとのことでした。

講座の資料と試食のチョコレート



また、セミナーは参加者の方に「楽しく、分かりやすく」を心掛けて行っていることをお話していただきました。

(株)明治様の活動としてこのようなシニア向けセミナー以外にも、乳幼児向けのセミナーや小中学校での食育出前授業など、幅広い世代に向けた健康講座を行っています。

今後も、地域の方々の健康に役立つ講座を提供いただき、より充実したサロン活動にご協力いただけたらと思います。

